

Primary Years Programme

評価方針

評価の捉え方

評価は、明日の指導を修正する手段となっています(Carol Ann Tomlinson)。

ソウゼンインターナショナルスクールでは、個々の学習ニーズに合わせて生徒を力強くサポートすることを重視しています。Primary Years Programme(PYP)の目標は、科目固有の知識とスキルの習得、概念の理解、学習アプローチの開発を通じて、生徒を思慮深く効果的にサポートすることです(PYP from principles into practice, 2022)。

私たちは、評価が学習とモチベーションのプロセスに重要な役割を果たすと考えています。また、評価は学生の学習スタイルを理解し、学習の障害を特定し、アプローチを改善するための窓となっています。

評価の目的

評価の目的は、学習と教育に情報を提供することです。評価は、教育実践に情報を提供するために、生徒の学習に関する情報を収集し分析するプロセスです。学習プロセスの異なる段階で、生徒が何を知っているか、理解しているか、できるかを特定します。評価は、生徒、教師、保護者、管理者に有意義なフィードバックを提供する役割を果たします。

この目的を達成する効果的な評価は、学習の構成要素を理解し、どのようにサポートするかを理解するための貴重な情報を提供し、学習コミュニティのすべてのメンバーに意味を持たせます。

学生の評価

評価は、生徒が自分の学習経験、進歩、改善の領域を理解し、自己評価スキルを開発するのに役立ちます。それは、新しい学習体験への扉を開く、自分自身の学習の旅を振り返る機会を与えます。また、生徒が自分の学習に責任を持ち、学習や理解を他の人に共有するのに役立つ自主性を築くことができます。

教師および管理者向けの評価

評価は、教師と管理者に、生徒のさまざまな学習スタイル、ニーズ、発達能力に関するガイダンスを提供し、生徒の学習行程を効率的にサポートし、学習目標を達成するのに役立ちます。また、評価は、教師と管理者が学習へのアプローチを開発し、生徒に建設的なフィードバックを提供し、協力して学習計画を検討するのに役立ちます。

保護者の評価

評価は、保護者が子供の学習プロセス、学習ニーズ、発達能力を理解するのに役立ちます。また、学生の学習をサポートし、参加し、参加する機会も提供します。

評価者

- 教師:
生徒の日常活動、学習経験のインプット、プロセス、アウトプット、進捗状況の観察を通じて行う
- 両親:
学校から生徒の家庭での活動についての情報を得ることができるようにする
- 生徒:
教師や保護者の支援を受けながら、自分自身の学習経験と進歩を振り返ること

評価の視点

私たちは、予備知識からインプット、インプットから処理、処理からアウトプット、アウトプットから探究ベースの活動の新たな学習まで、生徒の学習過程を評価します。私たちの観察は、IB Learner Profile によってガイドされています。「PYP の実現: IB 発行の国際初等教育のためのカリキュラム フレームワーク」の基準に従って、1 年間で 4 つの単位をカバーします。

Assessment of the Learner Profile	Assessments of the Essential Elements
● Self-reflection ● Action	● Knowledge ● Concepts ● Transdisciplinary Skills ● Attitude ● Action

評価の種類

評価の種類	目的	例
事前評価	教師が指導前に生徒が何を知っているのか、何ができるのか、生徒の興味や学習スタイルは何かなどに関する重要な情報を収集する方法を提供します (Mursky、2011)	● 議論 ● 観察 ● K-W-Lチャート what I know ,want to know,have learned
形成的評価	指導中に教師と生徒が使用する評価プロセス。進行中の指導と学習を調整するためのフィードバックを提供します。 学習目標に対する生徒の理解度を判断し、とるべき行動や目標に向けた代替手段についてのフィードバックを提供する (Laitusis、2023)	● 議論 ● 観察 ● 教室での探究ベースの活動 ● 自己評価
総括的評価	学習評価 (AoL) は、コースの成果を確認するためのデータを提供し、学生が学習目標の習熟度を証明する機会を提供します。 学習としての評価 (AaL) は、証拠に基づいた学習 (IB 標準に従った探究ベースの学習) 戦略を活用し、自己調整を促進し、反省的な学習を提供することにより、生徒に学習の主体性を提供します (Messier、2022)。	● ポートフォリオ ● プロジェクトのプレゼンテーション ● レポート ● デモンストレーション ● 自己評価 ● 相互評価 ● 反射

方法論

- 書面によるレポート (IB PYP 公式レポート) / 保護者と教師の面談
私たちは、数学、言語、科学、社会科、PSPE (個人、社会、体育)、および芸術の各科目の進捗報告を含む IB PYP 公式レポートから公式レポートを採用しました。これには、学際的なスキルの評価と探求単元の理解、学習者のプロフィールの考察、教師のコメントも含まれます。この文書は毎学期の終わりに保護者と生徒に届きます。
- 学生主導のカンファレンス (学生ポートフォリオ)
これは、学生が自分の成果、進捗状況、次のステップを独自のプレゼンテーションやデモンストレーションの方法で共有することで、学生を自分自身の教育の中心に据えるためのカンファレンスです。
- SIS コドモン アプリケーション
上記の方法論に加えて、私たちはコドモンアプリを通じて保護者や家族に連絡や報告を行い、コミュニケーションをとります。各生徒のその日やその週のハイライトを報告するために、保護者やご家族に写真やコメントを送信しています。また、保護者やご家族は、このデジタルコミュニケーションツールを通じて、必要なコメント、提案、問い合わせなどを私たちに伝えることができます。

レビューサイクル

- 評価方針のオリジナル版は、2024 年 1 月 11 日に サリタ・エドマールによって起草されました。翻訳の見直しが2024年8月22日 Mariko Inoue により行われました。
- この文書は評価委員会によって共同で検討されます。
- 評価方針は、指定された評価委員会によって、新学期が始まる前に毎年見直され、改訂されます。

参考文献

この文書を作成するために、次の学校の評価ポリシーが参照および適用されました。

- キッズ大陸 よこはま中川園
- カルガモイングリッシュスクール
- ラマラフレンズスクール

この文書を作成するために次の文書を参照しました。

- PYP の実現: インターナショナル小学校のカリキュラムの枠組み
- 初等年度プログラム、原則から実践まで